

Un jour

アンジュール

「アンジュール」は仏語で「ある日」の意味です



↑カダールオープンの年から始まった市民活動企画展「カダールフェスタ」も今年度で10周年。上の写真は期間中に開催された「はっぴいばあすでいカダールサロン」のひとコマ。

特集

オープン10周年 男女共同参画プラザ カダール

青森市男女共同参画プラザ・カダールは、多くの人の願いを受けて、平成13年1月26日にオープンしました。平成8年の男女共同参画都市青森宣言から4年半のときでした。平成14年に開催された「日本女性会議2002あおもり」では開催会場の一つとなり、AV多機能ホールから全国に向けて、当時はまだ珍しかったインターネット中継が行われました。

10年経った今も、毎日多くの方が利用されています。



「男女共同参画都市」青森宣言

私は私を大切に思うのと同じ重さで
あなたを大切に思う

性別を超え
世代を超え
時代を超え
人と協調し 人を信頼できる
誇り高い人間でありたい

すべての人の自立と平等をめざして
青森はここに「男女共同参画都市」を
宣言します。

平成8年10月22日 青森市

・「男って、照れくさくて『ありがとう』が言えないんだよ。」「男が『じゃないだろ、自分は』じゃないの？」
(50代・ひとくくりが嫌いな男)

・男女共同参画って？
難しいことは分らん！
でも、みんなが元気で楽しく生きていける青森をめざして頑張るぞ！
(70代・雪かき疲れたおじい)

アンジュール的 私の言の葉

・このクインたちは、きれいだけで選ばれたのではないのですよ。人間性とか、積極的に学習しているとか、ボランティア活動とか、こつこつポイントが高いんです」とテレビでアメリカの男性が。すかさず、日本の若い女性アナウンサーが言いました。「えーっ、きれいですよお。ここで、その発言？(60代 メディアの人に敏感になってほしい視聴者)

・10年前、子どもたちが巣立った後のこれからを考えて私は迷っていました。そして「私らしく生きる！自分にも尊重しつつ対等に二人で生きていくこと」にも繋がる生き方に出会いました。さてさて、これから10年！地域と繋がり、一人ひとりが生き生きと暮らしていけたらいいなあ。
(50代・いつでも一生懸命なかつちや)

・TVを見ていたら「子どものために、早退や育休を取る男がいるのはけしからん！」と、のたまう60代のゲストに「子育てもしない男性は、責任のある働き方ではない時代ですよ。サッサ時間を知らないんですか？」と、若いキャスターがすかさず突っ込んでいました。《サッサ時間？》↓さつさと時間内に仕事を効率よくやり、帰宅時間にはさつさと帰る働き方だそうす。 (30代・サッサ時間賛成派の妻)

ニュースの



「第3次男女共同参画基本計画」 —平成22年12月17日に閣議決定—

政府は、男女共同参画社会基本法に基づき、平成12年に第1次男女共同参画基本計画(以下、「基本計画」)を決定しました。その後5年ごとに見直しを図っています。

第3次基本計画は、基本法施行後10年間の反省を踏まえ、実効性のあるアクション・プランとするために、「成果目標」を設定しました。また、固定的な性別役割分担を前提とした社会制度や社会構造の変革をめざすこと、国際的な概念や考え方(ジェンダー等)を重視して国際的な協調を図ることなどを、策定にあたっての基本的な考え方としました。

特徴は、次の4つです。

- ①経済社会情勢の変化等に対応して、第2次基本計画では設定されていなかった「男性、子どもにとっての男女共同参画」、「貧困など生活上の困難に直面する男女への支援」などを新たな重点分野として新設。
 - ②それぞれの重点分野に「成果目標」を設定。
 - ③実効性のある多様なポジティブ・アクションの推進。2020年に指導的地位に女性が占める割合を少なくとも30%程度に。
 - ④女性の活躍による経済社会の活性化、「M字カーブ問題」の解消も強調。
- なお、「女性に対するあらゆる暴力の根絶」、「地域における身近な男女共同参画の推進」も、改めて強調しています。

●女性の悩み相談カダール相談室●

パートナーからの暴力で悩んでいる、自分自身の生き方や家庭のことで相談したいなど、あなたが抱えている悩みを相談員がお聞きします。

毎週月・木(祝日・年末年始・休館日を除く)

- 電話相談 ☎017-776-8850
- 面接相談 10:00~12:00
13:00~16:00
*面接相談は予約が必要です。
平日9:00~18:00 ☎017-776-8858

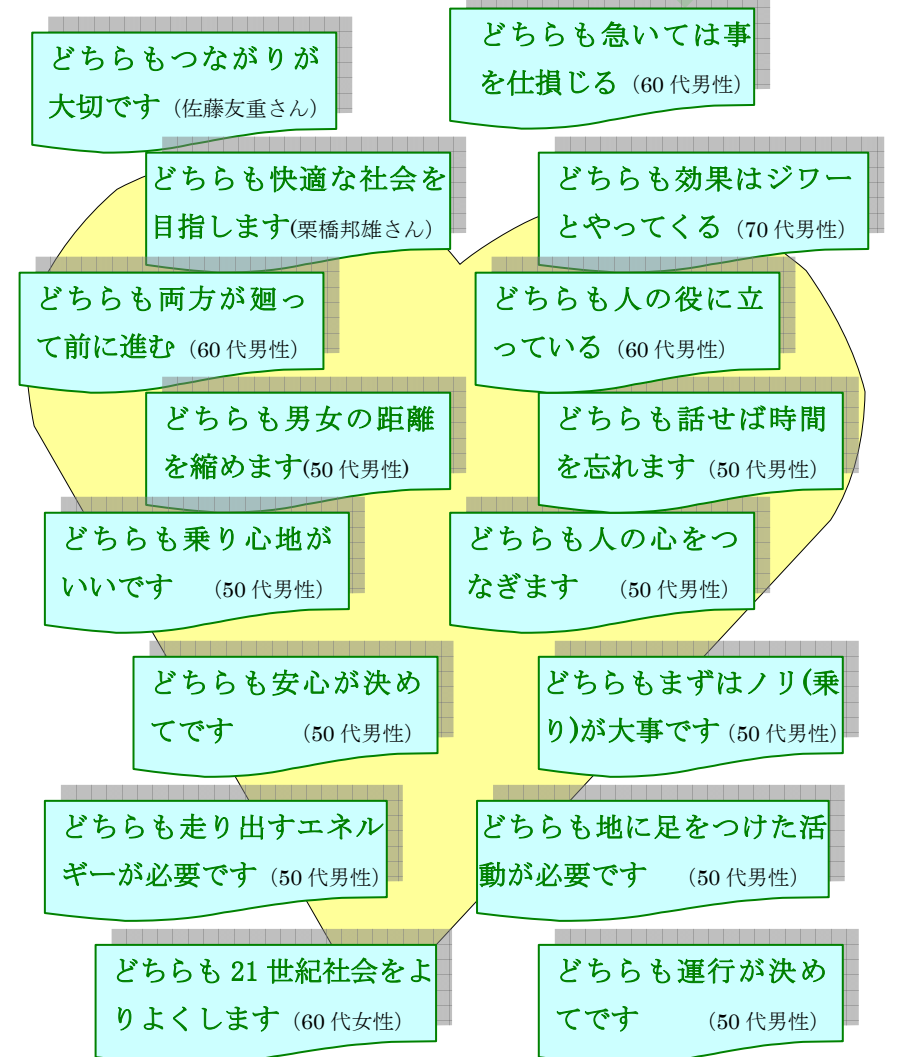
＜発行＞
青森市市民生活部市民協働推進課
男女共同参画室
〒030-8555 青森市中央1-22-5
☎017(734)2296 FAX 017(734)5232
＜編集スタッフ＞
企画集団ブティジュール：
白井壽美枝・小山内世喜子・沼田久美・阿部美智子

転載希望の方はご連絡ください。

東北新幹線全線開通！
前号で「新幹線とかけて男女共同参画と解く その心は～」の謎かけを募集しました。
ご回答をお寄せくださいましたみなさま、ありがとうございました。
この企画には男性から大きな反響をいただきました。
いくつかをご紹介します。



新幹線開通とかけて 「男女共同参画」と解く そのココロは...



■たかが呼び名、されど呼び名
「看護婦さん、この呼び名っていいよね。なんで、看護師さんに変えたの？」。こんな声がありました。
「アンジュール24号(平成16年3月20日発行)で男性の看護師さんが「男性の看護師が偏見なく受け入れられる時代が来たなあとつくづく感じます」と発言していらっしやいました。「看護婦」「保母」という名称が「女性職」のしほりを超えられず、看護や育児分野への男性の進出を難しくしていた部分がありました。10年前に訪れたノルウェーでも、元々が「男性職」「女性職」とされてきた分野への性別を超えた就職が難しいこと、女性職とされてきた職業の賃金が低いことが課題と聞きました。
男性でも女性でも、自分の関心や得意を活かした生き方の選択ができるのがいいと思いませんか？そしてそれには、「名称」や「言葉」の影響もあると思いませんか。



カダール誕生前

青森市は、昭和 55 年 4 月、国際婦人年から 5 年後という東北ではきわめて早い時期に、女性行政の窓口をスタートさせました（生活環境部婦人青少年課婦人係を設置）。それ以前の昭和 40 年代中頃には、青森市婦人会議連絡会（現在の「青森市女性会議連絡会」）が結成されて活動をしていました。

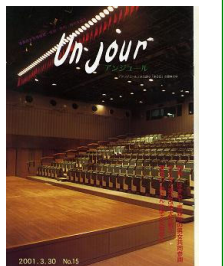
当初は「婦人問題」と呼ばれていたものが、時代の流れとともに、「婦人」から「女性」へ、さらに「女性」から「男女共同参画」へと移り変わり、その呼び方とともに市民の問題意識も少しずつ変化していきました。そういった中、青森市は平成 8 年に、市民と協働で男女共同参画都市を宣言。宣言を記念する事業の一つとして、市内の女性団体の代表者 44 人が議員となる模擬市議会が行われ、「女性センターの建設について」など 9 つの質問事項について、市理事者側との熱い議論が繰り上げられました。

カダールのオープン

男女共同参画都市宣言から 5 年後の平成 13 年 1 月、アウガ 5 階に、カダール（男女共同参画プラザ）はオープンしました。カダールは、「市民の男女共同参画社会の実現に向けての熱意を後押しするとともに、これまで長年培ってきた市民と行政とのパートナーシップをより強固なものとするため、市民の方々の自主的な活動や交流を支援する拠点施設として設置」されました（平成 12 年第 3 回定例会議事録より）。

市民と行政のパートナーシップ

「男女共同参画」が「婦人問題」と呼ばれていた時代から脈々と受け継がれてきた市民と行政のパートナーシップは、カダールの誕生を機に、新たな段階を迎えることになりました。熱意ある市民で結成された「青森市男女共同参画社会づくりをすすめる会」（当時）が、カダールで行う男女共同参画に関する講座・セミナーなどの事業の企画から運営までを担うことになり、これによって、拠点施設において市民と行政が一致協力して青森市の男女共同参画の実現のために取り組むという、現在まで続く市民と行政の協力体制が確立されました。市民団体から NPO 法人へとステップアップを遂げた「あおり男女共同参画をすすめる会」は、指定管理者制度が導入された現在も、カダール及びアコールの指定管理者の一員として両施設の事業運営を担っています。カダール、そしてアコールでは、市民と行政のパートナーシップのもと、今日も、男女共同参画に関する理解を広めるためのさまざまな事業が行われています。



*アンジュール 15 号（平成 13 年 3 月発行）の特集でカダールオープンを伝えています。

オープン10周年 男女共同参画プラザ カダール

ここで もう一度「カダール」に注目してみませんか



市民活動企画展 10 周年記念式典より（=1/21、カダール AV 多機能ホールにて）

特 別

寄 稿

カダール 10 周年に寄せて

元女性政策推進室長
松田 恵子



*写真中央が松田さん。名取はにわさん（写真左・元内閣府男女共同参画局長）、白井壽美枝・青森市男女共同参画プラザ館長とともに。

広報あおり 23 年 1 月 1 日号 16 頁のカダールフェスタ（市民活動企画展）お知らせの全面掲載は、とても嬉しい驚きでした。

男女共同参画の視点から活動中の市民団体の講演会や発表会、映画上映、展示など内容豊富な企画がいろいろあり、多くの市民の活動拠点として男女共同参画プラザが利用されていることに、オープンまでの経緯を思い起こし、深い感慨を覚えずにはられません。

平成 9 年 2 月、前年の男女共同参画都市宣言奨励事業の一環として女性による模擬市議会開催の折、北田文子さんが「女性センターの建設について」質問。活動拠点について強く要望されました。

5 年後、数多の女性たちの願いをのせてアウガの 5 階に男女共同参画プラザがオープン。愛称はカダール。カダールでの事業の企画運営は、平成 11 年 9 月に誕生した青森市男女共同参画社会づくりをすすめる会に委託。初代の館長は、すすめる会の会長、三上久美子さん。三上さんはスタッフとともに、病いを押しつけて熱心に草創期のカダール事業に当たられました。その後は、2 代目館長、白井壽美枝さんとスタッフの皆さんに引き継がれ、熱き思いとたゆまぬご努力によって男女共同参画プラザ「カダール」の歩みをこまですすめられました。今、10 周年を迎えますが、各般から耳目を集める不動の存在として、今後もあり続けることでしょう。

10 周年おめでとうございます。

私もひとこと

たくさんの方から 10 周年のメッセージをいただきました



- ★集い、学び、人生を楽しく送れるカダール好き
- ★できてよかった。あってよかった。カダール
- ★10 年あつという間ですね。みんなに愛されるカダールにバンザイ!!
- ★愛してるよ！カダール
- ★たくさんのお会いがある場所です
- ★日本女性会議もここでやったね
- ★皆さんの笑顔に助けられています。感謝
- ★集って力をつけられる場所があるのは本当にいいです
- ★オープンの時はホッとしました。ここまで来たと。この素敵な建物の中でいかに参画を進めていくかと心を引き締めました
- ★主催事業の参加者に男性や若い人が増えているように思います。第 3 次男女共同参画基本計画では「男性や子どもにとっての男女共同参画」がクローズアップされているので、もっと増えてほしい

- ★10 周年「祝」更なる飛躍を
- ★元気な青森、カダールで
- ★これからの 10 年、ますますみんなに愛されるカダールでありますように！
- ★HAPPY BIRTHDAY これからも青森が元気になるような活動を！
- ★10 周年おめでとう！今後ともよろしく
- ★長いようで短い 10 年。いろいろなことがありました…次はナニガアルカナ？
- ★楽しい青森にしよう
- ★ひとりひとりの豊かな人生、築くのは「個」だけ？社会のありようから考えたいよね。だからこそカダールの存在が必要！
- ★祝 10 周年、これからもカダールが素敵に年を重ねられるようにお手伝いできたらと思っています
- ★カダールこと男女共同参画プラザよ、永遠に！
- ★これからも一歩ずつ、個性を発揮できる社会に！

- ★Happy Birthday カダール
- ★カダール 10 年オメデトウゴザイマス
- ★カダールさん、ありがとう。ワーク室、印刷室利用させていただきましました
- ★カダール 10 周年おめでとうございます。スタッフの方々ご苦労様です
- ★白馬のおじ様が迎えに来てお城で好き放題！ムフフ。「男は強くなっちゃネ」「女はいつもやさしくカレのために生きるのよ」ああ、10 年前の私、愛しいけど、さようなら
- ★10 周年おめでとうございます。これからはがんばります！

託児室

@図書館通い、美容院…子どもを 3 時間まで預けられる託児室があります。1 時間 600 円。1 歳半から就学前。要予約。申込は 017(776)8800

団体登録

@登録団体は 224（平成 23 年 2 月 1 日現在）。オープン時（平成 13 年 3 月末）は 118。登録するには、男女共同参画に賛同しているなどの条件があります。カウンターで相談しましょう。

カダール とりびあ

ホール

@AV 多機能ホールの壁は開けることができ、一面のガラス窓から外が見えます。



トイレ

@オストメイト（=病気やケガなどで腹部に人工肛門・膀胱を造設した人の国際的名称）に対応したトイレがあります。



カダール利用の推移

